

令和7年2月診療予定表


診療時間(午前:9:00~12:00 午後:15:00~18:00) ※予告なく変更となる場合があります。

日	曜日	午前診				午後診			当直
		内科・一診	内科・二診	内科・三診	小児科	内科・一診	内科・二診	小児科	
1	土	穴田	隈元		岩井	竹谷			津村
2	日	休診(日直 津村)							脇
3	月	前田純	多田羅	西脇	岩井	前田純	西脇	岩井	竹崎
4	火	前田純	田代		岩井	田代		岩井	田代
5	水	隈元	多田羅	佐尾山	岩井	前田純	多田羅	岩井	多田羅
6	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	竹谷	岩井	次田
7	金	前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	福家
8	土	前田純	福家		岩井	馮			桑原
9	日	休診(日直 桑原)							温
10	月	前田純	多田羅	西脇	岩井	前田純	西脇	岩井	竹崎
11	火	休診(日直 次田)							脇
12	水	隈元	多田羅	佐尾山	岩井	前田純	多田羅	岩井	多田羅
13	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	藤原	岩井	次田
14	金	前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	安藤
15	土	前田純	隈元		岩井	竹谷			桑原
16	日	休診(日直 桑原)							穴田
17	月	前田純	多田羅	西脇	岩井	前田純	西脇	岩井	竹崎
18	火	前田純	田代		岩井	田代		岩井	田代
19	水	隈元	多田羅	佐尾山	岩井	前田純	多田羅	岩井	多田羅
20	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	藤原	岩井	次田
21	金	前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	松川
22	土	前田純	福家		岩井	馮			高橋重
23	日	休診(日直 高橋重)							光井
24	月	休診(日直 津村)							津村
25	火	前田純	田井		岩井	田井		岩井	田井
26	水	隈元	多田羅	佐尾山	岩井		多田羅	岩井	多田羅
27	木	佐尾山	多田羅		岩井	佐尾山	藤原	岩井	次田
28	金	前田純	多田羅	佐尾山	岩井	佐尾山		岩井	松川

※多田羅Dr. 月曜日は午前診のみ、水曜日の午後診は 16:00~17:00 となります。

※皮膚科・形成外科は予約診療・訪問診療を行っています。

専門外来	消化器内科	前田隆史 前田純	呼吸器内科	前田隆史 西脇聖剛
		田井裕樹 田代康平	呼吸器外科	佐尾山信夫
	消化器外科	隈元謙介 馮東洋	泌尿器科	多田羅潔
		藤原潤一 竹谷洋	小児科	岩井朝幸 岩井艶子
	福家拓郎			



当院では、正面玄関や病棟に「ふれあいの箱」というご意見箱を設置しておりますので、当院に対するご意見・ご要望等ございましたらご遠慮なくお聞かせください。



善通寺 前田病院

広報 純心便り

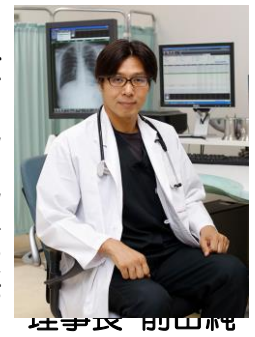
2025年
2月
第201号

トピックス

- 今月の一言………理事長
- 純心会 善心会 職員研修旅行
- 急性肺炎について
- 旬の食材で簡単レシピ

〔純心会理念〕

信頼される医療
想いと優しさの伝わるケア
私たちはそれを目指します



住手長 前田純

今月の一言

みなさんこんにちは。二月になりました。先月はインフルエンザが大流行し大変でしたが、ようやくおちついてきた様です。さて、先月末に埼玉県で衝撃的な事故が起きました。道路が陥没しそこにトラックが転落したとのことです。救助活動が上手くいかず、そうこうしているうちに周囲の道路も陥没し穴が拡大、最終的には40m程の範囲にわたって道路が陥没したとのことです。転落したトラックの運転手の方はこの原稿書いている時点で、まだ救助されていません。時間と状況を考えると生存は厳しいかもしれませんが、なんとか一刻も早く救出してあげて欲しいものです。

今回の事故は地下の下水管が破損し、そこから下水が漏れ出して周囲の地盤が軟弱化し起きたもの様です。定期的に点検はしているのですが、地下に埋められている下水管が


大丈夫かどうかなかなか実際には分からない様な気がします。下水管の耐用年数は約五〇年ほどだそうです。高速道路なんかもそれぐらいと言う話を聞いたことがあります。

50年前というところまで僕が生まれた頃でして、第2次ベビーブームの真っ最中で、田中角栄総理の日本列島改造論に従ってどんな日本中に社会インフラが整備されていた頃で、その頃に整備されたインフラがもう限界にきている、ということなのだと思います。

全国の下水管で現在五〇年を超えている場所は9%ほどのことですが、10年後には20%、20年後には40%を超える、とのこと、これから今回の様な事故は、いつどこで起こってもおかしくないものになっていく、と思うと非常に恐ろしく感じます。

これから人口もどんどん減っていく中で、老朽化していく社会インフラをどうしていくか？というのは非常に重要な問題ですね。ぜひ政府と行政には計画的なしっかりした対応をして欲しいな、と思うところです。

それでは皆さん、今月もお元気に過ごして下さい。



職員研修旅行

例年より寒さの厳しい二月となりました。インフルエンザや新型コロナウイルスの感染はやや落ち着いてきたようですが、例年の2~3倍といわれている花粉の時期がもうすぐそこまです。事前の対策を心がけたいものです。

純心会・善心会では、一月に島根県まで研修旅行に行ってきました。仕事では顔を合わす機会がない仲間たちと親睦を深め、有意義な時間を過ごすことができました。



急性膵炎について

急性膵炎とは

急性膵炎とは、胃の後ろ側にある膵臓という臓器に急激な炎症が起こり、みぞおちや背中に強い痛みなどが生じる状態です。

膵臓には主に2つの働きがあり、1つは膵液という消化液をつくって十二指腸に送り出し、食べ物の消化吸収を促進する働きです。

膵液には、糖質を分解するアミラーゼ、たんぱく質を分解するトリプシン、脂質を分解するリパーゼなど複数の消化酵素が含まれています。

また、膵液は膵臓の中では不活性ですが、十二指腸で胆汁などの消化液と混ざることによって活性化します。

もう1つの働きは、血糖値を下げるインスリン、血糖値を上げるグルカゴン、それらの分泌を抑制することで血糖値を調整するソマトスタチンなどのホルモンを血液中に分泌し、血糖などをコントロールすることです。

しかし、何らかの理由で膵臓の中で膵液が活性化してしまうことがあり、活性化した膵液に膵臓自身が消化されてしまうと、急性膵炎に発展します。

原因

急性膵炎の主な原因として、**飲酒**や胆石症の発生が挙げられます。

アルコールを飲みすぎると膵液の分泌が促され、それがうまく十二指腸に流れなくなるにより、急性膵炎を引き起こすことがあります。

また胆石症とは、食べ物の消化を助ける胆汁の通り道である胆道に結石が生じることをいいます。

結石は胆汁の成分が凝縮されることよって生じるといわれており、食生活の欧米化や高齢化などによって患者数が増加していることが分かっています。

胆道と膵管は同じ出口のため、胆道で作られた胆石が膵管に詰まると、膵液がうまく流れなくなることにより、急性膵炎を引き起こします。

そのほか急性膵炎は手術やけが、内視鏡による膵管の検査、治療薬などをきっかけに発症することもあり、先天的な膵臓の異常（膵管癒合不全）や脂質異常症などの病気が原因で発症することもあります。

また原因の分からない特発性の急性膵炎もあります。

症状

急性膵炎の主な症状はみぞおち（上腹部）や背中に生じる強い痛みです。

この痛みは、食後やお酒を飲んだ後などに生じる傾向があります。

痛みが強いため体をまっすぐに保てず、うずくまるような姿勢になってしまふことも少なくありません。他にも、発熱や吐き気を伴うこともあります。

【重症化した場合】

急性膵炎が重症化すると、膵臓が腫れることで内臓の動きが悪くなり、腸閉塞などが生じることもあります。また、ショック状態に陥ることや冷や汗やめまい、血圧や意識の低下が生じ命に関わることもあります。

【胆石症による急性膵炎の場合】

胆石症による急性膵炎では、**黄疸**の症状が現れることがあります。

黄疸とは、皮膚や白目の部分が黄色くなり、皮膚にかゆみが生じるほか、ビリルビン尿と呼ばれる褐色の尿が出るようになる状態を指します。

【後期合併症】

治療後に何らかの合併症が起こることもあり、膵臓やその周辺の脂肪が壊死することにより、敗血症など命に関わる病気がつながることもあります。

検査

食後、飲酒後のみぞおちの強い痛みなど急性膵炎を疑う症状があった場合、血液検査や尿検査、画像検査などが行われます。

急性膵炎診療ガイドラインに応じて、重症度を判定し、重症度に合わせた治療を検討することが一般的です。

【血液検査・尿検査】

血液検査や尿検査では、主に膵臓の消化酵素であるアミラーゼ、リパーゼの値や炎症の状態を示す白血球数、CRP値などを確認します。

また胆石症による急性膵炎の場合には、血液検査で肝胆道系酵素であるAST、ALT、ガンマGTP、ALP、TBilなどの値を確認することもあります。

【画像検査】

画像検査としては、超音波検査やCT検査が行われ、膵臓の腫れや周辺に液体が溜まっているかなどを確認します。

特に造影剤を用いたCT検査は膵臓の状態を詳しく観察できることが特徴です。

また重症の急性膵炎では、膵臓の細胞が壊死して黒く写ります。

治療

急性膵炎は軽症の段階で治療を開始することが望ましく、重症化すると治療が長引くほか、命に関わる恐れもあります。

治療は入院をして行うことが一般的で、病気の重症度に応じて治療内容は異なります。

【軽症の場合】

まずは大量の点滴療法によって体をめぐる水分量を正常化させることで、臓器障害を予防します。

そのほか、膵臓の酵素の働きを抑える治療薬や痛みの症状を和らげるための鎮痛剤、感染を防ぐための抗生物質などの使用が検討されることもあります。

【重症の場合】

重症の急性膵炎でも、軽症の場合と同様に点滴療法が行われます。

それに加えて重症例では、炎症が全身に及んでさまざまな臓器の機能が低下してしまうことがあるため、人工呼吸器を使った治療や昇圧剤の投与、透析療法など集中治療室での治療が必要になる可能性もあります。

また、栄養を取り込むために鼻から胃へ細い管を入れて栄養を投与することもあります。

【その他の治療方法】

胆石症による急性膵炎の場合、**内視鏡**を用いて胆石を取り除くことが検討されます。

また、自己免疫性膵炎の場合には、ステロイドの投与が検討されることもあります。

予防

急性膵炎から回復し、体調が良くなったからといってまたアルコールを過剰に摂取したり、不規則な食生活を続けたりしていると、炎症が再発するリスクを高めることとなります。

急性膵炎をくり返していると、膵臓自体が機能しなくなってしまう慢性膵炎へと移行していく可能性が高くなります。

慢性膵炎の場合も、初期の段階では激しい腹痛などが起こりますが、後期になると痛みはほとんどなくなりません。

しかし、膵臓の機能をほぼ失ってしまうため、消化不良による下痢や体重減少などを生じるほか、糖尿病を発症させたり悪化させたりする要因となり、膵臓がんのリスクも高まると考えられています。

急性膵炎や慢性膵炎にならないよう、生活習慣に気を付けることが大切です。

○大量の飲酒を控える

日本酒なら1合以内、ビールならロング缶1本以内程度にとどめましょう。

○油っぽい食べ物を食べ過ぎないようにする

脂っこい物や肉類を食べ過ぎないように注意して、バランスのよい食事を心がけましょう。

○禁煙する

○ストレスをためこまず、規則正しい生活を送る

アルコールや胆石などの原因がない場合、ストレスや不規則な生活などによる自律神経の乱れが膵臓の炎症の要因となっている可能性が考えられます。夜ふかしをしない、適度な運動を習慣にするなど、できることから始めていきましょう。

余ったおもちを美味しくかんたん調理「もちチヂミ」



●●● もっちもちチヂミ ●●●

【作り方】

- 耐熱皿に入れた切りもちに、水大さじ2を入れラップをしないで電子レンジ600Wで1分半加熱する。
- 柔らかくなったもちをスプーンなどでよくこねて、薄口しょうゆを入れしっかり混ぜる。
- ニラを小指大に、ちくわを斜めに切り、チーズといっしょにもちとざっくり混ぜる。
- フライパンにごま油をひき、弱めの中火で混ぜたもちを焼く。
- 焼けたら食べやすい大きさに切り器に盛る
- Aを混ぜたら付けダシの完成♪

【材料 1人分】

切りもち・・・1個、水・・・大さじ2、薄口しょうゆ・・・小さじ1、ニラ・・・1本、ちくわ・・・1本、ピザ用チーズ・・・適量、ごま油・・・適量
 A めんつゆ（4倍濃縮）・・・大さじ1、酢・・・大さじ1/2、砂糖・・・小さじ1、すりごま・・・小さじ1、ラー油・・・お好みで



どちらも鏡開きです

祝